

コ ー ス	学習力養成講座		
学年・期・単位	第1学年・前期・後期・4単位	科目担当責任者	山田 良広（社会歯科学講座 法医学分野・教授）
オフィスアワー	毎週火曜日17:00～18:00（第2研究棟4階法医学研究室）	メールアドレス	yamachan@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	歯科医学における基礎歯学および臨床歯学の役割と教育の概要を理解し、歯学教育を自主的に学ぶ姿勢を育む。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 歯学教育と学生生活	6年間の歯学教育体系を理解し、どのような学生生活を過ごすべきかを理解する。
2. 課題検討	フレッシュマンキャンプで研修した課題について理解する。
3. 学習力養成講座	修学計画の立案、歯科医師になるための倫理観の養成、自立・自律力、自己管理能力の重要性、団体生活のマナー、リーダーシップ、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、コラボレーション力を養成するための基本的知識を習得する。
4. 基礎教育と臨床教育	基礎科目と臨床科目の関連について理解して学習方法を習得する。
5. 歯科医師の社会貢献	歯科医師の一般臨床以外での社会貢献について理解する。
6. PBL 導入	グループ討議の手法と図書館におけるリソース検索の実際を理解する。
7. PBL 総論	PBL -チュートリアル（以後PBLと略す）の概要、リソース検索とレポートのまとめ方を理解する。
8. PBL コアタイム	PBLの実践を習得する。
9. 自己学習	図書館、インターネットの利用法を習得する。
10. PBL 成果のまとめ	学習内容のまとめと他人への説明を習得する。
11. 発表用スライドの作成	パワーポイントソフトによるスライド作成を習得する。
12. PBL 成果の発表	まとめたことのプレゼンテーションを習得する。
13. follow up 講義	シナリオの内容に対する基礎と臨床の関連を理解する。
14. 振り返り総合学習	学習力養成講座のユニットを振り返り、重要事項を習得する。

評価法 (EV)
提出されたポートフォリオ (50%)、PBLのプロセス評価 (40%)、講義への参加状況 (10%) と受講態度 (減点) を総合して評価を行う。

授業計画								
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準		
1	4/14	歯学教育と学生生活	1. 歯学教育体系を説明できる。 2. 学生の心得を説明できる。 3. 喫煙と飲酒の害を説明できる。 4. 健康管理室の利用方法を説明できる。 5. 学生相談室の利用方法を説明できる。	1. 板書、パワーポイントにより解説する。 2. 図書館の蔵書、ネットワークを活用した論文検索を解説する。	山田良広、木本茂成、佐藤順子、吉水和規	B-1-3)-①		
2								
3	4/21	課題検討	1. グループ討議の手法を理解できる。 2. フレッシュマンキャンプでの成果を説明できる。 3. 課題の不足部分を説明できる。 4. 不足部分の補足を説明できる。	1. グループ討議により、パソコンなどを使用して学習サマリーをまとめる。 2. グループ内で発表用の媒体を完成し、各自のレポートを作成する。 3. 各グループで学習成果を発表し、ディスカッションする。	山田良広、窪田光慶 フレッシュマンキャンプ引率教員	B-2-1)-①～②		
4								
5	4/28							
6								
7	5/12	学習力養成講座	1. 効率のよいノートの取り方を説明できる。 2. ポートフォリオの意義を説明できる。	各回、SBOs についてグループ討議をして、最後に話し合ったことをまとめてポートフォリオする。最終的に課題として各自の歯科医師としてのキャリアプランニングを完成させ、ポートフォリオする。	山田良広、木本茂成、窪田光慶、李昌一、槻木恵一	B-1-2)-①～④		
8								
9	5/19		キャリアプランニングの意義を説明できる。					
10								
11	5/26		歯科医師になるために必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力を説明できる。					
12								
13	6/2	基礎教育と臨床教育	1. 解剖学を紹介できる。 2. 基礎系の研究を説明できる。 3. 基礎研究と臨床の関連を説明できる。	関連の深い基礎分野、臨床分野の責任者が研究の特徴をプリントやパワーポイントを用いて説明する。最終的に基礎と臨床の関連を理解してポートフォリオする。	高橋理、山田良広	D-2		
14								
15	6/9		1. インプラント学を紹介できる。 2. 臨床系の研究を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。		笹倉裕一、山田良広	F-3-4)-(4)		
16								
17	6/16		1. 薬理学を紹介できる。 2. 基礎系の研究を説明できる。 3. 基礎研究と臨床の関連を説明できる。		李昌一、山田良広	D-5		
18								
19	6/23		1. 麻酔学を紹介できる。 2. 臨床系の研究を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。		吉田和希、山田良広	F-1-3)-(1)～(4)		
20								
21	6/30		1. 病理学を紹介できる。 2. 基礎系の研究を説明できる。 3. 基礎研究と臨床の関連を説明できる。		槻木恵一、山田良広	D-4		
22								
23	7/7	1. 口腔外科学を紹介できる。 2. 臨床系の研究を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。	久保田英朗、山田良広	F-2				
24								
25	7/14	1. 微生物学を紹介できる。 2. 基礎系の研究を説明できる。 3. 基礎研究と臨床の関連を説明できる。	浜田信城、山田良広	D-3				
26								
27	7/21	1. 保存学を紹介できる。 2. 臨床系の研究を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。	石井信之、山田良広	F-3-3)-(1)～(4)				
28								
29	7/28	合学習 ふり返り総	1回～28回までの総復習		山田良広			
30								

授業計画							
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準	
31	9/7	基礎教育と臨床教育	1. 材料学を紹介できる。 2. 基礎系の研究を説明できる。 3. 基礎研究と臨床の関連を説明できる。	関連の深い基礎分野、臨床分野の責任者が研究の特徴をプリントやパワーポイントを用いて説明する。最終的に基礎と臨床の関連を理解してポートフォリオする。	榎本貢三、 山田良広	E -1~2	
32							
33	9/14		1. 補綴学を紹介できる。 2. 臨床系の研究を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。			木本克彦、 山田良広	F-3-4)-(1) ~ (3)
34							
35	9/21		1. 特殊外来を紹介できる。 2. 口臭外来を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。				宮本尚、 山田良広
36							
37	9/28		1. 特殊外来を紹介できる。 2. かみ合わせ外来を説明できる。 3. 臨床と基礎研究の関連を説明できる。		玉置勝司、 山田良広	F -4-5)	
38							
39	10/5	歯科医師の社会貢献	1. 歯科臨床以外の歯科医師の社会貢献の意義を説明できる。 2. ボランティアの方法を説明できる。 3. ボランティアの学び方を説明できる。 4. 歯科臨床以外の歯科医師の社会貢献の意義を説明できる。 5. 身元確認の方法を説明できる。 6. 法医学の学び方を説明できる。	担当者が活動の特徴をプリントやパワーポイントを用いて説明する。	山田良広平田 宗義 (招聘講師)	A -3	
40							
41	10/12						A -3
42							
43	10/19						
44							
45	10/26	導入 PBL	1. 他己紹介によるアイズブレイクの利点を説明できる。 2. K J 法の手法を説明できる。 3. グループ内で協調性をとることができる。	提供される資料から、ホワイトボードを使用して K J 法を実践する。	山田良広 窪田光慶 PBL 担当教員		
46		総論 PBL	1. PBL の概要を説明できる。 2. PBL の手法を説明できる。 3. PBL の長所を説明できる。	板書、プリント配布、パワーポイント、VTR、ネットワークを活用した論文検索により解説する。		B-1-3)-①	
47	11/2	アタリム	1. PBL のステップ1~5を説明できる。 2. シナリオから問題点 (不明部分) を抽出できる。 3. 問題点から学習項目を明らかにできる。	提供されるシナリオから、ホワイトボードを使用して PBL のコアタイムを実践する。		B-1-1)-① B-1-2)-②	
48							
49	11/9	自己学習	1. 学習に必要なリソースの検索方法を説明できる。 2. レポートのまとめ方を説明できる。	自己学習			
50							
51	11/16	のまとめ	1. 各自が学習成果を発表することができる。 2. グループ内で討議することができる。 3. グループで学習サマリーをまとめることができる。 4. 学習サマリーを発表用の媒体に工夫できる。	グループ討議により、パソコンなどを使用して学習サマリーをまとめる。		B-1-1)-③ B-1-2)-②~③	
52							
53	11/30	発表用スライドの作成	1. 発表用の媒体を作成することができる。 2. 各自でレポートを作成することができる。	グループ内で発表用の媒体を完成し、各自のレポートを作成する。		B-1-2)-②	
54							
55	12/7	の発表	1. プレゼンテーションをすることができる。 2. プレゼンテーションの内容に対して、質問や意見を述べることができる。	各グループで学習成果を発表し、ディスカッションする。		B-1-2)-③	
56							
57	12/14	講義	1. シナリオの意図するところを説明できる。 2. 歯学との関連を説明できる。	//		B-1-2)-③	
58							
59	12/21 (調整期間) 1限・2限	合学 ふり 返り 総 復 習	31回~58回までの総復習		山田良広		
60							